

② ワークショップ「SIMふながた2030」(120分)

SIMとは、シミュレーションの略で、各テーブルを1つの架空の町として、2030年までの10年間に迫りくる少子高齢化などの課題に対して、「健康福祉・教育文化・産業経済・まちづくり・防災安全・生活環境」の課長となり、対話をしながら町の将来像を描くまちづくりゲームです。

各課長に任命され、架空の町の担当課の現在の予算状況や事業についての確認を行いました。

50億円	収入 15億円	交付金 20億円	2億円
健康福祉課	教育文化課	産業経済課	まちづくり課
防災安全課	生活環境課	総務課	市民生活課
20億円	2億円	3億円	6億円
7億円	2億円		



架空の町の10年後を見据えて事業の廃止や減額の判断をしました。また、新規事業についても考えました。

各課から出された案のメリットとデメリットを話し合い、よりよい予算配分について議論が白熱。



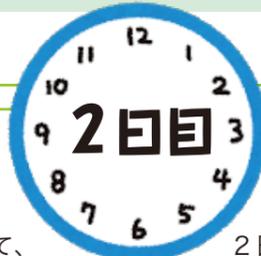
① 先輩とのフリートーク(90分)



グループに分かれて、職員とゲーム形式の自己紹介で親睦を深めた後、先輩に仕事やプライベートの過ごし方について質問をしました。

◎こんな質問がありました

- Q. 住民対応の上で大切なことはなんですか？
 A. 相手の立場になって説明することが大切です。行政用語を使わず、相手に分かりやすい言葉を心がけています。
 Q. 仕事にやりがいを感じる時はいつですか？
 A. 町民に感謝されたり、大きな事業が完了したときです。



③ ふりかえり(60分)

2日間の日程のふりかえりを、KP法を用いて行いました。参加者からは「コミュニケーション能力の大切さを学ぶことができた。」「上下関係が厳しく堅いイメージがあったが、みんなで地域をよくしようと協力しながら仕事をしていた。」などの声がありました。

～KP法とは～

- ・紙芝居(K)プレゼンテーション(P)の略
- ・紙芝居のように、B5用紙にマジックで要点を記入し、それを使い説明する方法
- ・伝えたい情報を簡潔に伝えられる



あけそり! 孫プロジェクト 今後の予定と活動紹介

11/9(火) 9/30(木) (予定) 随時受付中

「シゴトの魅力」伝え方研修

若者のために大人が学び、自社の魅力を伝えるために、地域の企業で働く方を対象に研修会を開催します。



ふながたWAKUWAKUWORK

中学生を対象に地域の企業が一堂に会して職業体験会を開催します。この機会に保護者のみなさんもぜひ見学に来てください。

▼問い合わせ先
舟形町まちづくり課地域支援係

☎(32)0104

今回のジモト大学をふりかえって
 役場の仕事は、2日間では伝えきれませんが、理解が深まり、これからの学生生活に少しでも役立てば幸いです。高校生が、ジモト大学のプログラムに参加し、この地域に興味関心を持って活動してくれることは、地域の大きな力になります。これをきっかけに自分の住む地域にも目を向け、地域の活動にも興味を持っていただくと期待しています。
 (まちづくり課 石川)

若者活動支援補助金

町では、未来を担う若者が、そのアイデアで、「わくわく」しながらまちづくりに参加する環境をつくらせていきたいと考えています。そこで、高校生をはじめとした若者の団体等が企画提案する活動について支援するため、若者活動支援補助金(上限25万)を交付しています。詳しくは問い合わせください。

新庄・最上

ジモト大学が開催されました



8月3〜4日、町の「おかえり!孫プロジェクト」の一環で「ジモト大学」が開催されました。最上地域の高校生8名が参加し、二日間にわたり、役場職員に密着して働き方などを観察するジョブシャドウイングなどにより、公務員の仕事についての理解を深めました。

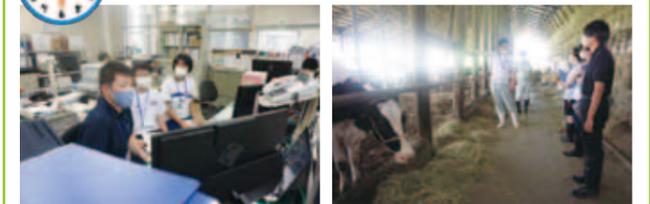
② 座学:町の概要について(45分)

まちづくり課長より、町が進める「まちづくり」についての講話がありました。

① オリエンテーション(30分)

参加者の自己紹介と、二日間のプログラムの確認が行われました。

③ ジョブシャドウイング(90分×2回)



1人の担当職員に、2人ずつの参加高校生がついて、写真のような税務係や農業振興係の仕事など、庁舎内外で仕事に密着しました。実際の仕事内容を見ることで、働くとは何かを具体的にイメージできたのではないのでしょうか。



ジモト大学 3つのルール



- ① 地元のことをよく知るうー!
- ② もっと自分から積極的に語るうー!
- ③ ともに本気で学ぼうー!

～ジョブシャドウイングとは～

実際の職場で特定の職員に影(シャドウ)のように密着し、仕事の内容、仕事への姿勢、働き方、職場環境、やりがい、人間性などを観察や質問をしながら学ぶ手法のこと。



地域の大人と高校生が、地域のことを本気で語り、学び、交流する場、それが「新庄・最上ジモト大学」です。
 最上地域では、若者の流出を伴う人口減少が進んでおり、とりわけ大学進学等で最上地域外に転出し、卒業後の地元への帰郷が少ないことが大きな課題となっています。最上地域の高校生が在学中に、地域の本気の大人との「対話」や「協働」を通じて、地域住民としての当事者意識を身に付け、将来なりたい姿を見つめる。そこに向かって主体的に学習する。そして、将来ここに暮らし、地域の中核を担う人材の育成を目標として、最上地域全体で取り組んでいる事業です。

ジモト大学って何?